

# 経済・経営学演習

( 中石 知晃 ゼミ )

授業科目名	経済・経営学演習		講義題目	持続可能な生産と消費	
授業科目区分	選択必修科目		授業科目コード		
授業方法及び開講学期等	通常講義 通年	担当教員名	中石 知晃	授業対象学生及び学年等	3年以上
単位数	4単位				
履修条件	環境問題、資源・エネルギー問題等の社会課題に対し、何らかの関心が有ること。		キーワード	環境経済、資源・エネルギー経済、生産性、消費者行動、持続可能な生産と消費、持続可能な開発目標 (SDGs)	
全体の教育目標	ゼミ活動全体で以下の4つの能力を養うことを目指します： ①分析力：解決すべき任意課題を見つけ出す力； ②思考力：任意課題の解決方法を考える力； ③実行力：任意課題の解決に実際に取り組む力； ④伝達力：課題解決までのプロセスを他者に伝える力。		個別の学習目標	任意の社会課題を、社会・環境・経済といった多角的な視点から捉える。  データ分析を通して、任意の社会課題を客観的・定量的に分析・評価する。	
<b>授業の概要</b>					
ゼミでは、「環境経済学」や「計量経済学」に関する基本的な知識を習得した後、上記4つの能力を養うことを念頭に、皆さんが任意に設定した卒論テーマ（※SDGsの17の目標のいずれかに関連するものが望ましい）についての調査・分析・報告を、通年で行ってまいります。実際の調査では、アンケート調査や公開データ等をベースに、エクセルや統計ソフトウェア等を用いた実証データ分析を行ってまいります。数学（計量経済学）やPCスキルに不安があっても全く問題ありません、適宜サポートしていきます。					
<b>授業計画</b>					
3年生前期：教科書の輪読・発表・質疑等をグループで行ってまいります（※教科書は右下を予定）。 3年生後期～：任意の卒論テーマを設定してもらい、設定テーマに関する調査・分析・報告を行ってまいります。4年後期の1～2月頃には調査内容を卒業論文として取り纏め、最終報告会にて発表してまいります。					
<b>授業の進め方</b>			<b>教科書及び参考図書</b>		
演習形式で行います。毎回の報告担当者がスライド（パワーポイント）形式で報告し、報告内容に対する質疑・討論等を全員で行ってまいります。ゼミは3年生、4年生、大学院生の合同で行います。			【教科書】環境経済学をつかむ [第4版]（有斐閣・栗山浩一、馬奈木俊介）；環境経済学の第一歩（有斐閣・大沼あゆみ、柘植隆宏） 【参考書】実証分析のための計量経済学（中央経済社・山本勲著）；地域データ分析入門 すぐに役立つEBPM 実践ガイドブック（林 宜嗣、林 亮輔）		
<b>試験・成績評価の方法等</b>			<b>その他</b>		
平素の成績で評価。			演習参加申込を行い受講を認められた学生だけが登録できる。		

### ゼミの企画、その他特記事項

ゼミ活動における活発な議論は、ゼミ生同士の信頼(友好)関係の上に成り立ちます。また、良い研究のアイデアは、研究室や自宅に引きこもっていても不思議と生まれず、散歩中や友人との会話の中で偶然生まれたりするものです。当ゼミでは、歓迎会、キャリアセミナー、スポーツ大会、山登り、現場見学、合同ゼミ、合同バーベキュー、忘年会、ゼミ卒業旅行、送別会等の様々なイベントを通して、ゼミ生同士は勿論、多種多様な社会人の方々とも積極的に関わり、個々人の知見を十分に広げてもらえればと思います。ゼミの詳しい活動内容や雰囲気等は、ゼミの公式 HP (<https://nakaishizemi.com/>) やゼミ生管理の Instagram 等をご覧ください。

### 応募に当たっての注意

ミスマッチを避けるため、ゼミ説明会(※対面で実施)へは原則参加して下さい。やむを得ない理由で参加不可能な場合は、[nakaishi@econ.kyushu-u.ac.jp](mailto:nakaishi@econ.kyushu-u.ac.jp)にメール頂ければ個別に対応を検討します。ゼミ説明会は、12月13日(金)、12月20日(金)、12月26日(木)の3日間(※各日ともに16時40分～17時30分の間を予定)の日程で開催します。応募多数で選抜となる場合は、志望理由や特定の社会課題への興味関心の度合いを重視します。オープンゼミは実施致しません。